

インターネットやテレビ、ラジオで講義を行う放送大（本部・千葉市）の有志教員らが、新型コロナウイルス感染症を巡る一般向け緊急講義を25日からネット上で始めることが24日、同大への取材で分かった。講義は総集編も含めて全10回。各5～6分とコンパクトに、ウイルスの基礎知識や社会に起きている問題を説き起こす。

きょうから放送大有志教員ら

一般向け緊急動画講義

講義名は「新型コロナウイルス（異文化間コミュニケーション）の仕組み、流行再燃へても、人文社会科学の視して、ネット上でのウイルス流行の中（ケーション）は「さまの対応策などを取り目で分析する。動画投稿サイト「さまな面から新型コロナウイルス上げるほか、「読書の「コーチユープ」の放ナを取り上げました。すすめ」「運動不足の出演や企画に携わっ。先行公開を決めたとい送大チャンネルで配ぜひ、問題を考えるき弊害」といった、外出防のため収録や打ち合送の同大チャンネルで信する。感染症対策のっかけにしてほしい」自粛を想定した中身わせをオンラインで行も流す予定だ。スピード感を重

ため、教員9人が自と話している。も。

宅などからテレワー 講義では「新型コロナ 感染症の流行が社会クも活用して収録し ナウイルスとは」「社にもたらす分断や差会的な距離をとるとい 別、非日常的な状況で緊急講義の呼び掛け うこと」などとして、 の情報発信や受信とい人となった大橋理枝教 ウイルスの構造や感染 った深刻な問題につい

放送大の緊急公開講義	
はじめに	
新型コロナウイルスとは	
ウイルス感染への対応	
社会的な距離をとること	
多様な人々が置かれた状況	
情報の入手と発信の基本	
読書のすすめ	
運動不足の弊害	
ウイルス感染リスクとつきあ	
う生活	
総集編	

新型コロナウイルス流行の中で ～放送大学教員からのメッセージ～

1. 新型コロナウイルスとは：二河成男（自然と環境コース）
2. ウイルス感染への対応：田城孝雄（生活と福祉コース）
3. **社会的な距離をとるとのこと：森 津太子（心理と教育コース）**
4. 緊急時だからこそ忘れないで欲しい、情報の入手と発信の基本：
辰己丈夫（情報コース）
5. 多様な人びとがおかれた状況への想像力を：
北川由紀彦（社会と産業コース）
6. 読書のすすめ：近藤成一（人間と文化コース・放送大学附属図書館長）
7. 運動不足の弊害と運動実施時の注意点：
関根紀子（生活と福祉コース）
8. リスク管理の観点からみたウイルス感染リスクとつきあう生活の姿
—まとめにかえて—：奈良由美子（生活と福祉コース）

総集編 シリーズ登場全教員から



新型コロナウイルス流行の中で～放送大学教員より～ 第0回：はじめに〈大橋理枝〉